

株式会社 堀場製作所

2019年12月期 第3四半期決算 電話説明会資料

常務取締役 管理本部長

大川 昌男

2019年11月11日

説明内容

1. 2019年12月期 1-9月実績
2. 2019年12月期 通期業績予想
3. 為替の売上高・営業利益への影響
4. 営業利益分析(前年同期比較)
5. 設備投資額・減価償却費・研究開発費
6. その他トピックス

< 免責事項 >

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

1-1. 2019年12月期 1-9月実績

(単位:億円)

1-9月実績 半導体の販売減少により減収減益

	2018年 1-9月実績	2019年 1-9月実績	対前年同期増減	
			金額	率
売上高	1,460	1,370	▲ 90	▲6%
営業利益	178	120	▲ 58	▲33%
営業利益率	12.2%	8.8%	▲ 3.4p	
経常利益	175	115	▲ 59	▲34%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	134	84	▲ 50	▲37%
為替 レート	USDドル	109.60	109.12	▲ 0.48
	ユーロ	130.87	122.62	▲ 8.25

1-2. 2019年12月期 1-9月実績 [セグメント別]

(単位:億円)

		2018年	2019年	対前年同期増減	
		1-9月実績	1-9月実績	金額	率
売上高	自動車	483	520	+37	+8%
	環境・プロセス	134	138	+3	+3%
	医用	192	187	▲ 5	▲3%
	半導体	454	335	▲ 118	▲26%
	科学	195	188	▲ 7	▲4%
	合計	1,460	1,370	▲ 90	▲6%
営業利益	自動車	17	27	+10	+61%
	環境・プロセス	11	9	▲ 2	▲18%
	医用	13	10	▲ 2	▲20%
	半導体	140	74	▲ 66	▲47%
	科学	▲ 4	▲ 2	+1	-
	合計	178	120	▲ 58	▲33%

<自動車>

[アジア/欧州] 排ガスビジネスの販売増加
 [米州] 前年に計上した一時的な費用が剥落

<環境・プロセス>

[日本] 水質計測装置の販売増加
 [欧州] 大気汚染監視用分析装置の販売増加
 研究開発費の増加などにより減益

<医用>

ユーロ安円高推移による売上高の目減り
 研究開発費の増加などにより減益

<半導体>

半導体メーカーの設備投資調整が続き、販売減少

<科学>

アジアや欧州向けの販売減少

2-1. 2019年12月期 通期業績予想

(単位:億円)

受注動向および業績の進捗により、売上高とすべての利益を下方修正

	2018年 実績	2019年				
		前回予想 (8/6時点)	今回予想 (11/11時点)	vs 前年	vs 前回予想	
売上高	2,105	2,130	2,070	▲ 35	▲ 60	
営業利益	288	250	230	▲ 58	▲ 20	
営業利益率	13.7%	11.7%	11.1%	▲ 2.6p	▲ 0.6p	
経常利益	283	245	225	▲ 58	▲ 20	
親会社株主に帰属する 当期純利益	223	175	160	▲ 63	▲ 15	
為替 レート	USDドル	110.44	110.00	110.00	▲ 0.44	-
	ユーロ	130.35	125.00	122.00	▲ 8.35	▲ 3.00

2-2. 2019年12月期 通期業績予想 [セグメント別]

(単位:億円)

		2018年	2019年通期			
		実績	前回予想 (8/6時点)	今回予想 (11/11時点)	vs 前年	vs前回予想
売上高	自動車	796	850	830	+34	▲ 20
	環境・プロセス	193	200	200	+7	-
	医用	260	280	260	-	▲ 20
	半導体	577	500	500	▲ 77	-
	科学	277	300	280	+3	▲ 20
	合計	2,105	2,130	2,070	▲ 35	▲ 60
営業利益	自動車	77	80	70	▲ 7	▲ 10
	環境・プロセス	20	20	20	-	-
	医用	18	20	15	▲ 3	▲ 5
	半導体	170	120	120	▲ 50	-
	科学	2	10	5	+3	▲ 5
	合計	288	250	230	▲ 58	▲ 20

<自動車>

[排ガスビジネス]

アジアの景気減速の影響を受け、販売鈍化を予想

[MCT/ECTビジネス]

業績進捗を鑑み、利益を下方修正

<医用>

[欧州] 為替のユーロ安円高推移による売上高減少

費用増加を見込み、利益も減少

<科学>

3Qまでの進捗に鑑み、アジア向け売上高などを下方修正

<環境>

<半導体>

通期予想修正なし

3. 為替の売上高・営業利益への影響

(単位:億円)

2019年1-9月 為替影響額(前年同期比)

2019年1-9月	前年比増減
売上高の減少	▲33.3
売上原価の減少(逆符号)	+ 20.1
販売費及び一般管理費の減少(逆符号)	+ 9.4
営業利益への影響	▲3.8

(円)	2018年1-9月	2019年1-9月	レート差
USDドル	109.60	109.12	▲ 0.48
ユーロ	130.87	122.62	▲ 8.25

為替感応度(2019年通期予想) 1円円高による売上高/営業利益の影響額

	売上高	営業利益
USDドル	▲4.7	▲2.7
ユーロ	▲3.4	▲0.1

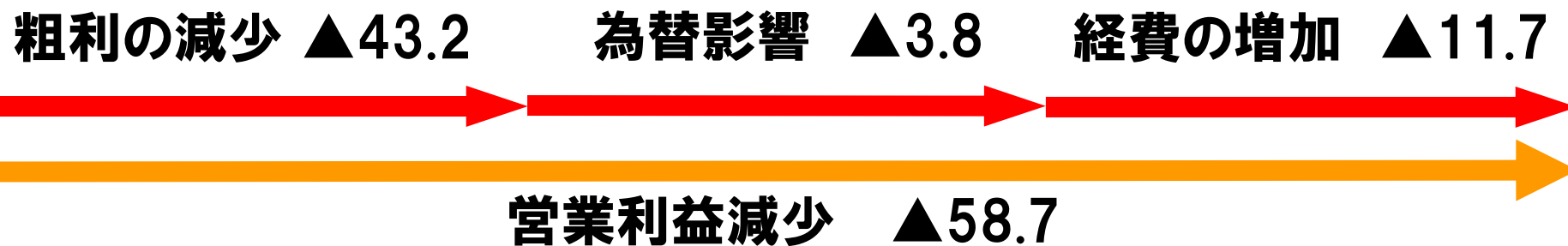
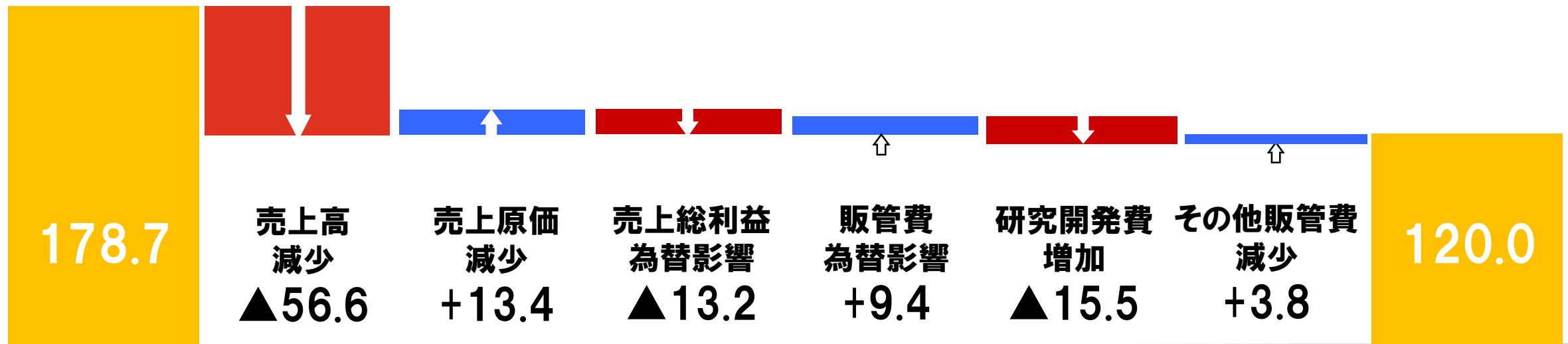
(円)	2019年通期予想
USDドル	110.00
ユーロ	122.00

4. 営業利益分析(前年同期比較)

(単位:億円)

2018年
1~9月実績

2019年
1~9月実績



5. 設備投資額・減価償却費・研究開発費

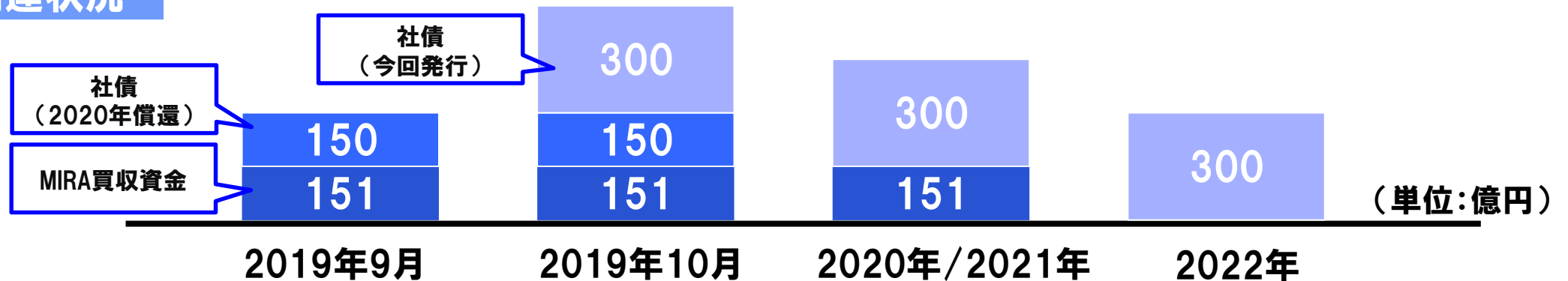
第3四半期までの進捗により、通期の設備投資予想を下方修正

	2018年	2019年				2018年	2019年	
	通期実績	前回予想 (8/6時点)	今回予想 (11/11時点)	VS 前年	VS 前回予想	1-9月	1-9月	3Q進捗
設備投資額	102	160	140	+37	▲ 20	74	83	60%
減価償却費	72	80	80	+7	-	52	64	81%
研究開発費	151	160	160	+8	-	109	122	77%
(対売上高比)	7.2%	7.5%	7.7%			7.5%	9.0%	

6-1. 社債の発行(2019年10月17日)

	第5回 無担保社債	第6回 無担保社債
発行額	150億円	150億円
利率	年0.18%	年0.27%
発行日	2019年10月17日	
償還期限	2026年10月16日 (7年債)	2029年10月17日 (10年債)
使用用途	社債償還資金、設備資金、投融資資金、借入金返済及び運転資金	

外部調達状況

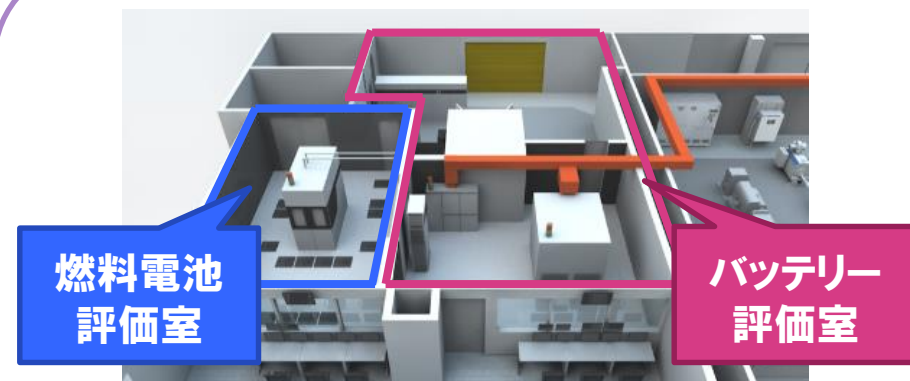
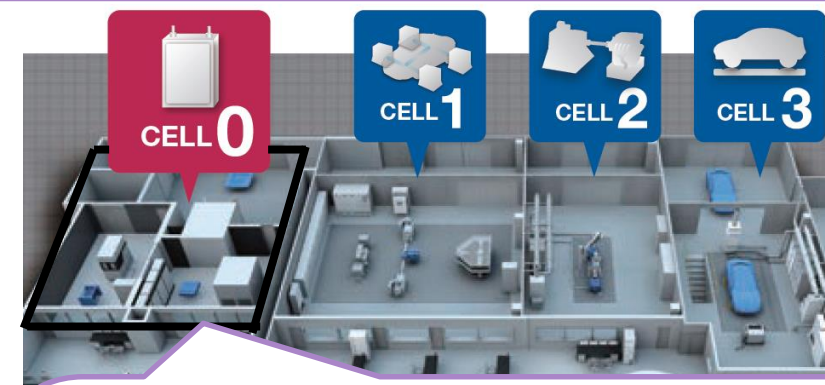


6-2. 電動化車両バッテリー評価試験設備「CELL 0」開設

電動化車両の開発プロセス最適化に貢献するHORIBA独自のソリューションを展開

【設備の特徴】

- 幅広い温度試験環境を実現
 - ◆ xEVや燃料電池の評価で活躍
- CELL 0～CELL 3の連動が可能
 - ◆ トータル評価システム「Test in the Loop」
 - ◆ 新たな価値を持つ計測ソリューションを提供



2019年11月開設
@HORIBA BIWAKO E-HARBOR

HORIBA BIWAKO E-HARBOR

機関投資家向けにリクエストベースで見学会を実施
ご希望の方は、メールにてご連絡ください

堀場製作所 経営管理部 IRチーム

Email: ir-info@horiba.com

6-3. 堀場テクノサービス 新社屋建設開始（2019年11月1日）

グローバルなサービスビジネス拡大をリードするヘッドクォーターとして機能

【事業概要】

- 製品メンテナンスや受託試験など、HORIBAのサービスビジネスを推進

【新社屋の特徴】

- 各機能の集約による、情報の収集/発信能力強化
- 分析ラボや校正/メンテナンス設備、研修スペースなどの拡充

Always with You

お客様に常に寄り添い、ワンストップで
課題解決するビジネスモデル強化をめざす



完成時期：2020年11月（予定）
投資額：約38億円

6-4. 「2019堀場雅夫賞」授賞式を開催（2019年10月17日）

国内外の若手研究者・技術者支援を通じて、イノベーション創出の加速に貢献

本年
テーマ 電力および電池を最大限に活用する効率的な制御のための先端分析・計測技術

【授賞式の内容】

- 研究内容発表会・ポスターセッション
 - ◆ 受賞者による研究紹介
 - ◆ 受賞者とテーマに関して直接議論できる場
- 行政、学術機関などから多くの有識者が出席

【今後のねらい】

- 受賞者や研究室・機関との連携を強化
- 研究内容の具現化やHORIBAの電動化ビジネス拡大につなげる



授賞式には、審査委員長の吉野彰先生（今年のノーベル化学賞受賞者）もご出席

6-5. セミコンジャパン2019 投資家向けブースツアー開催

日時: 2019年12月11日(水) 10:05-10:45 / 11:00-11:40

場所: **東京ビックサイト セミコンジャパン2019** HORIBAブース内

概要: 半導体事業責任者による、製品、市場状況、戦略の説明

申込: 事前申込制とさせていただきます(各回定員10名)

ご参加いただける方は、ご希望の時間帯を記入して、メールにてご連絡ください。

堀場製作所 経営管理部 IRチーム: ir-info@horiba.com

セミコンジャパン2019
ウェブサイトにて
事前登録をお薦めします→



SEMICON[®]
JAPAN

<http://www.semiconjapan.org/jp/>

皆様のご参加をお待ちしております！

ご清聴ありがとうございました。